

未来に輝け!ジュニアアスリート

悔し涙も流した。震えるほどの喜びも味わった。すべてを明日へのチカラに変えて、名古屋から全国へ世界へ、飛躍しようとしているジュニアアスリート達。まさにいま青春ど真ん中。彼女ら彼女らのスポーツにかける熱き思いをお届けします。

私の演技で観客を魅了し、目指すは、オリンピックのメダル!

わだ かおるこ
和田 薫子 さん

(フィギュアスケート グランプリ東海クラブ所属
名古屋市立前津中学校2年生)



プロフィール 2009年5月13日生まれ。ソチオリンピックで浅田真央さんの活躍に刺激を受け、フィギュアスケートを始める。グランプリ東海クラブに入り、山田満知子コーチ、本郷裕子コーチに師事する。
●2023年2月:第43回全国中学校スケート大会5位
●2023年10月:第40回西日本ジュニア選手権3位
●2023年11月:第92回全日本ジュニア選手権13位
●2024年2月:第44回全国中学校スケート大会2位

——浅田真央さんに憧れて始めたそうですが、どんなところに惹かれたのですか?

ステップがとても上手で、観ている人を魅了するところに憧れました。スケートを始めたのは5歳くらいですが、私も浅田真央さんのようになりたいと思い、その後グランプリ東海クラブに所属して本格的にフィギュアスケートを始めました。

——薫子さんが考えるフィギュアスケートの魅力とは?

言葉では表現できないことが、自分の演技で表現できることが魅力だと思います。浅田真央さんがまさにそうでした。

——ご自身のアピールポイントは?

スピンの得意なので、スピンではいろんなものができるかなと、それが強みだと自分では思っています。以前から好きでしたし、いまもスピンの練習量は多いですね。

——いま取り組んでいる課題はありますか?

一番はトリプルアクセルを跳べるように練習しています。それと表現力も少しずつ磨いていこうと取り組んでいます。

——久野理事長(名古屋市スケート協会)から見て、薫子さんの良いところは?

(久野理事長) すごく真面目で、普段からコツコツと練習しています。練習に取り組む姿勢はとてもいいですよ。そのまま伸びてほしいです。

——フィギュアスケートを始めて、いままでで一番うれしかったことはなんですか?

ノービスでの成績から推薦で全日本ジュニア選手権に出場できたときです。友達が応援に来てくれて、大きなスノーピーのぬいぐるみをくれました(笑)。

——逆に悔しかったことは?

今シーズンの全日本ジュニア選手権で大失敗をしてしまって……。それがすごく悔しかったです。ですから、今年2月に開催される全国中学校スケート大会では、表彰台に立てるようがんばり



たいと思っています。

(久野理事長) 今シーズンの彼女の最大の目標は全日本ジュニア選手権だったと思いますが、フリーでミスが重なってしまいました。間違いなく実力はあります。全国中学校スケート大会では自分を信じて、思い切って演技をしてほしいですね。

——競技生活は良い時も悪い時もありますが、リフレッシュの方法などはありますか?

映画鑑賞と読書です。移動時間に観たり読んだりしています。映画はディズニー、本は恋愛系の小説が好きです。

——では最後に、今後の目標、こんな選手になりたいなど夢を教えてください。

いまの目標は、海外遠征に参加できる実力をつけ成績を残すこと。選手像としては、もう一回見たいと思ってもらえる選手になることです。そして将来は、憧れの浅田真央さんのようにオリンピックに出場して、世界から愛されるスケーターになりたいです。

——フィギュアスケート王国・愛知名古屋と言われる中で、久野理事長からもひと言お願いします。

(久野理事長) ひとつの県からこれだけ優秀な選手が多く出るとは、本当に誇れることです。でも、実はオリンピックの金メダリストがいない。ぜひ金メダリストの誕生を期待したいし、その手助けをしていきたいですね。

——薫子さんも有力なひとりですね。私たちが期待しています。本日はありがとうございました。



名古屋市スケート協会提供